

推進状況調査結果

目標 I あらゆる分野へ男女共同参画を進める

施策の方向 1 男女平等の意識づくり（固定的性別役割分担意識の解消）

施策 (1) 学校における男女平等の推進

子どもたちが人権を尊重し、固定的性別役割分担意識にとらわれない価値観を身につけられるよう、男女平等の視点に立った学校運営・教育活動を推進します。また、性別に関わりなく、子どもたちの個性や能力を伸ばす男女平等教育を推進できるよう、教職員の研修を実施します。

事業		計画	担当課
①	男女平等の視点に立った学校運営の推進 (学校行事等の見直しの継続)	継続	指導課
事業		計画	担当課
②	男女平等の視点に立った教育活動の推進 (各教科・道徳・特別活動等)	継続	指導課

【 年度当初の目標 】 男女平等意識の観点から教育内容の充実を図るよう指導・助言する。		
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
校長会・副校長会・教務主任会・人権教育推進委員会の場で、男女平等意識の観点から学校行事等での参加及び発表の順番などを見直し、男女差別防止に配慮した適切な学校運営ができるように支援した。	A	儀式的行事における男女混合座席や体育的行事での男女混成競技、文化的行事での適性による役割など教育課程の中でも男女平等の視点で適切な編成が行われていくよう、今後も校長会等で継続的な意識啓発を進めていく。
<p>【協議会からのコメント】</p> <p>○事業実績について、毎年同じような記載となっておりますが、もう少し具体的に記載してください。</p> <p>→【担当課のコメントに対する回答】</p> <p>運動会や体育祭において男女混合種目を増やしています。また学習発表会等の実行委員や児童会・生徒会の役員についても性別に拘らず、意欲のある児童生徒が担うよう、校長会等で男女平等の視点に立った意識啓発に努めています。</p>		
【 年度当初の目標 】 男女平等意識の観点から教育内容の充実を図るよう指導・助言する。		
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
校長会・副校長会・教務主任会において、男女平等教育の視点に立った教育活動の実践について指導・助言するとともに、教育内容の充実を図るよう努めた。	A	男女平等参画社会の意義を改めて認識できるように働きかけるとともに、アンコンシャス・バイアスにとらわれない指導計画を作成するよう、各担当者会を通じて男女平等教育の視点から教育活動を推進するよう指導・助言した。
<p>【協議会からのコメント】</p> <p>○事業実績について、毎年同じような記載となっておりますが、もう少し具体的に記載してください。事業に記載してある「各教科・道徳・特別活動等」の内容にもう少し触れてください。</p> <p>→【担当課のコメントに対する回答】</p> <p>一例としては、柔道のような身体的な接触を伴う種目は男女を分ける必要があると捉えていますが、それ以外の小中学校の体育・保健体育については男女平等の視点に立ち、基本的に男女共習を実施しています。</p>		

目標 I あらゆる分野へ男女共同参画を進める

施策の方向 1 男女平等の意識づくり（固定的性別役割分担意識の解消）

施策 (1) 学校における男女平等の推進

子どもたちが人権を尊重し、固定的性別役割分担意識にとらわれない価値観を身につけられるよう、男女平等の視点に立った学校運営・教育活動を推進します。また、性別に関わりなく、子どもたちの個性や能力を伸ばす男女平等教育を推進できるよう、教職員の研修を実施します。

事業		計画	担当課
③	男女平等の視点に立った進路指導、生活指導の推進	継続	指導課
事業		計画	担当課
④	教職員の男女平等に関する研修の実施	継続	指導課
事業		計画	担当課
⑤	女性教員の管理・指導的立場への参画に向けた意識啓発等	継続	指導課

【年度当初の目標】性別にかかわらず生徒の個性に応じた適切な進路指導を行うよう指導・助言する。		
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
進路等の相談にあたっては、男女の性別にかかわらず生徒の個性に応じた適切な進路指導を行うよう指導・助言した。校長会・副校長会・生活指導主任会・進路指導主任会等において、継続的に男女平等教育の視点に立った進路指導・生活指導に取り組んだ。	A	進路指導においては、性差にとらわれることなく、児童・生徒の個性の伸長の視点及び保護者の意向を尊重していくように助言した。また、指導の際に、差別的な言動をしないようにすること等、男女平等教育の視点に立ち、言語環境に十分配慮するよう取り組んだ。
【年度当初の目標】原則全員参加とした上で男女平等教育に基づく研修を推進する。		
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
人権教育の充実を図るとともに、年5回の人権教育推進委員会において様々な協議・講習及び管外研修等の場を通して、男女平等教育に基づく研修を推進した。	A	男女の性別に関係なく、個人として尊重し合う人権教育を推進するため、今後も人権教育推進委員会で男女平等教育に関する研修を継続的に行っていく。
<p>【質問】 ○様々な研修とありますが、具体的にどのようなことをされたのでしょうか。</p> <p>→【担当課回答】 ○担当者が、東京都の人権教育指導推進委員会に参加したことを基に、人権教育推進委員会にて、人権教育プログラムについての研修や、アンコンシャス・バイアスに関する研修、人権教育に関する協議、東京都教育委員会人権尊重教育推進校の発表等を通じて人権教育の推進を図りました。</p>		
【年度当初の目標】管理職試験について、男女を問わず受験できる旨、教職員に周知し受験を奨励する。		
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
教育管理職選考については、男女を問わず本人の希望により受験できる制度であり、教職員に広く周知し受験を奨励した。 教員の校務分掌は男女関係なく、その職に対する個々の能力・適性を総合的に判断し、職務分担が出来るように推進した。	A	少しでも多くの女性教員が教育管理職選考を受け、校長・副校長が増加していくよう奨励を行うとともに、意思決定段階への参加に向けた意識啓発を行っていきたい。

目標 I あらゆる分野へ男女共同参画を進める

施策の方向 1 男女平等の意識づくり（固定的性別役割分担意識の解消）

施策 (2) 家庭・地域における男女の意識改革

固定的性別役割分担意識やそれに基づく慣習や慣行は、家庭や地域において大人から子どもへ引き継がれていきます。家庭や地域において、男女平等が進んでいない慣習や慣行を見直すとともに、根強く残る固定的性別役割分担意識を解消し、次の世代に伝わることのないよう、啓発や情報提供を実施します。

事業	計画	担当課
① 固定的性別役割分担意識の解消に向けた啓発・情報提供	継続	市民協働課

【 年度当初の目標 】 女性の活躍推進をテーマに取り上げ、関心の高い内容で実施する。

令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の 評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
<p>○男女平等推進セミナーの実施</p> <p>セミナーⅠ 実施日：令和4年9月2日（金） テーマ：輝く自分であるために 定員：20人 参加者：8人（女性8、男性0） 託児：申込0人</p> <p>セミナーⅡ 実施日：令和5年1月21日（土） テーマ：無意識の思い込みについて知ろう ～アンコンシャス・バイアスについて～ 定員：30人 参加者：22人（女性20、男性2） 託児：申込2人、利用2人</p> <p>○女と男のフォーラムいなぎの実施 実施日：令和5年2月12日（日） テーマ：パンデミックが浮き彫りにした ジェンダー格差 ～コロナ禍の未来を切り拓こう～ 参加者：45人 託児：申込0人</p>	A	<p>○未だ根強い固定的な性別役割分担意識、性差に関する偏見や様々な社会制度・慣行等を見直すことで、働き方・暮らし方・意識に変革をもたらすきっかけとなるよう、各事業を実施した。また、新型コロナウイルス感染症を考慮しての運営を行った。</p> <p>セミナーⅠ 自分の魅力（アピールポイント）を発見するための個人ワークやグループシェアを行い自分らしい就職活動を進め、自分に合った仕事を見つけられるよう、自己表現力を上げるための方法を学んだ。（経済課との共催事業）</p> <p>セミナーⅡ どこにでも、誰にでも存在する「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」について知って、気づいて、対応することについて学んだ。</p> <p>○女と男のフォーラムいなぎ 女と男のフォーラムいなぎでは、市民実行委員と協働し、社会問題や気になることについて話し合いながらテーマを決めている。令和4年度は、令和3年度より引き続き企画当初より新型コロナウイルス感染症対策を考慮して進めていたが、感染者数が減少したことや緊急事態宣言、まん延防止対策が出ていなければ対面で開催したいという講師の意向を委員が賛同し開催とした。コロナ、女性、貧困というテーマで講演していただいた。長引くコロナ禍で女性の貧困や家庭内ケア負担など浮き彫りになった現実について知り、誰もが生きやすい社会を考えるきっかけとなった。</p>

【協議会からのコメント】

○セミナーの開催、私自身は参加することができませんでしたが、誠にありがとうございました。

目標 I あらゆる分野へ男女共同参画を進める

施策の方向 1 男女平等の意識づくり（固定的性別役割分担意識の解消）

施策 (2) 家庭・地域における男女の意識改革

固定的性別役割分担意識やそれに基づく慣習や慣行は、家庭や地域において大人から子どもへ引き継がれていきます。家庭や地域において、男女平等が進んでいない慣習や慣行を見直すとともに、根強く残る固定的性別役割分担意識を解消し、次の世代に伝わることのないよう、啓発や情報提供を実施します。

事業	計画	担当課
② 男女平等意識を培う主催講座等の実施	継続	生涯学習課

【 年度当初の目標 】 男女平等を推進するための学習の機会や会場貸出し協力も含め内容の充実を図る。

令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
<p>(公民館) 親と子の教室の開催 ・中央公民館 3講座 (全16回) 親14人、 保育児13人参加 ・第三公民館 1講座 (全 9回) 親4人、 保育児 2人参加 ・城山公民館 1講座 (全12回) 親3人、 要保育児3人参加</p> <p>インファントマッサージ教室の開催 ・第四公民館 1回2コース (全4回) 各回7組15人 延べ28組60人参加</p> <p>保育室開放 ・中央公民館 年間22回</p>	A	<p>【親と子の教室の開催】 それぞれの夫婦の関係を考えながら人生設計を構築する等の内容を含め実施した。 中央公民館 講座中第7回目 テーマ「「私」自身を考える」 講座中第12・14回目 テーマ「子育て中のアンガーマネジメント ～怒りと上手に向き合うためには～」 第三公民館 講座中第3回目 テーマ「これからの「私」のために」 城山公民館 講座中6回目 テーマ「私」再発見 ～これからの私を楽しむ～</p> <p>【インファントマッサージ教室】 1回2コースのうち、1コースは夫婦と父子の参加を促し、夫婦で育児に携わる意識の醸成に努めた。</p> <p>【保育室開放】 保育室を自由に利用してもらうことで、保護者同士の情報交換の機会提供を行った。</p>

【質問】

- 親と子の教室の開催について、中央公民館、第三公民館及び城山公民館の父親（男性）の参加率を教えてください。
- 講座のテーマ選びの際に、シングルマザーやシングルファザーの方が参加しやすいように配慮はしておりますか。

→ 【担当課回答】

- 親と子の教室 父親参加率
 - ・中央公民館 0%
 - ・第三公民館 0%
 - ・城山公民館 0%

○講座のテーマについては、シングルマザー（ファザー）の方を含めたすべての方に参加していただけるようなものを選ぶよう努めています。

目標 I あらゆる分野へ男女共同参画を進める

施策の方向 1 男女平等の意識づくり（固定的性別役割分担意識の解消）

施策 (2) 家庭・地域における男女の意識改革

固定的性別役割分担意識やそれに基づく慣習や慣行は、家庭や地域において大人から子どもへ引き継がれていきます。家庭や地域において、男女平等が進んでいない慣習や慣行を見直すとともに、根強く残る固定的性別役割分担意識を解消し、次の世代に伝わることのないよう、啓発や情報提供を実施します。

事業		計画	担当課
男女平等に関する資料や情報の収集と提供		継続	市民協働課
③	事業	計画	担当課
	男女平等に関する資料や情報の収集と提供	継続	図書館課

【 年度当初の目標 】 時代に即した情報を収集し提供する。

令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の 評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
<p>○情報資料コーナーの充実 男女平等推進センター内情報資料コーナーにて、収集した図書、雑誌、行政資料等を提供している。令和4年度は5冊を新しく配架。書籍の表紙が見える展示をするなど展示手法に工夫をしPRした。(年間貸出数8冊)市ホームページで蔵書一覧を掲載するほか、市民協働課で発行している男女平等に関する情報誌「それいゆ」を過去分も含めてホームページに掲載している。</p>	A	<p>○男女平等推進セミナーや女と男のフォーラムの関連図書を購入した。 新しい資料の収集などをするだけでなく、ポップなど新しく作成し、目に留まりやすくするよう努めた。 男女平等観の形成など大きな課題に対して、引き続き親しみやすく分かりやすい資料の収集・提供をしていきたい。</p>

【 年度当初の目標 】 男女平等に関する資料の充実を図る。男女平等のイベントに合わせて資料展示を行う。

令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の 評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
<p>○男女平等に関する資料の収集等 男女平等に関する資料の収集を行い、貸出・閲覧に供した。行政機関等から届く男女平等に関する寄贈資料についても、適宜受入れを行っている。</p> <p>○男女平等関連資料の特設展示コーナー 「女と男のフォーラムいなぎ2023」に合わせて全館で設置した。 展示期間：令和5年1月24日(火)～2月12日(日) また、令和2年9月29日(火)～令和3年12月26日(日)の間中央図書館で実施した「SDGs関連資料展示」の展示資料リストの配布を継続して行っている。</p>	A	<p>図書購入の際、男女平等についての資料収集に配慮し、また、市が開催する男女平等に関するイベントに関連する展示により、図書館利用者へ男女平等参画に関する啓発を行うことができた。 男女平等に関する話題も含めた「SDGs関連資料展示」にて紹介した資料リストは、令和3年度から継続して現在も配布中である。なお、図書館では、随時新規資料の購入・古い資料の除籍を行っていることから、資料リストの更新を適宜行い、来館者の利用に資する内容のものを提供できるよう努めてまいりたい。</p>

目標 I あらゆる分野へ男女共同参画を進める

施策の方向 2 政策・方針決定過程における男女共同参画の促進

施策 (1) 委員会・審議会等への女性委員の参画の促進

市民にとって身近な基礎自治体である市において、政策・方針決定に関わる委員会、審議会等への女性の登用や女性が参画しやすい環境整備を進めます。

事業		計画	担当課
①	女性委員の積極的登用と委員の男女比の均衡	継続	市民協働課
	事業	計画	担当課
	女性委員の積極的登用と委員の男女比の均衡	継続	関係各課
②	事業	計画	担当課
	人材バンクによる、女性の人材に関するデータの確保	継続	生涯学習課
	事業	計画	担当課
	人材バンクによる、女性の人材に関するデータの確保	継続	市民協働課

【年度当初の目標】委員の入れ替え時期に全庁的な呼びかけをするとともに、目標値及び現在値の周知を行う。					
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)		事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント		
○審議会等の女性の参画率31.7% (令和4年4月1日時点)		B	○女性参画率向上のために依頼文書を発信し、現在値と目標値である「40%」を記載して周知するとともに、人材バンク制度等の活用についても案内している。適材適所の登用に留意しつつ、働きかけを継続していきたい。 女性の割合が10%未満の場合について、理由を確認したところ、「女性の人材が少ない」「職名により委員を充てているため」「団体の長等に女性の就任する割合が全体的に低くなっている」等があった。 単に女性の登用自体を推奨するものではなく、男女共同参画社会の実現をめざすには、女性の活躍が不可欠であって、そのために政策・方針決定過程への女性の参画の促進をめざす、ということへの理解促進に努める。		
区分	委員数			女性委員数	女性委員の割合
行政委員 (5)	25 人			4 人	16.0 %
附属機関 (27)	344 人			101 人	29.4 %
その他 (31)	544 人			184 人	33.8 %
計	913 人	289 人	31.7 %		
委員として女性を登用することについて、全所属長に対し文書にて依頼した。(8月・3月)					
【協議会からのコメント】 ○女性の割合が10%未満の場合について「職名により委員を充てているため」との理由がありますが、なるべく充て職にならないような委員構成を検討してみたいはいかがでしょうか。					
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)		事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント		
本書6ページ参照 (男女平等推進いなぎプラン 関係各課 取組み状況調べ<調査結果>、項目1)					
【年度当初の目標】女性に限らず、引き続き生涯学習だより「ひろば」等で登録者増を図っている人材との面談を実施することで十分なデータ確保を図る。					
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)		事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント		
令和4年度学習の指導者としての登録者は、144人、内女性は70人、登録者の多くは自主グループなどの指導者として活躍しているほか、いなぎICカレッジや稲城市生涯学習宅配便講座などの講師として、市民の学習機会を提供している。		A	可能な限り男女平等に寄与する学習機会を提供している。また、市民への学習機会の提供を通じて多くの方が活躍されている。		
【年度当初の目標】登録の募集を行う中で、女性の登録率向上を目指す。					
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)		事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント		
○市報にて人材バンクへの登録者を募集するとともに、市ホームページの「人材バンク(市政参加協力者)への登録者募集」コンテンツに女性委員登用率を記載した。令和4年度末現在、人材バンクの女性登録者は27人となっている。 (女性27人 男性44人 計71人 女性の登録率38.0%)		B	○審議会や委員会における女性の参画を推進するための間口が拡大するよう、募集時に女性の登録を特記していきたい。		
【協議会からのコメント】 ○WEB登録を可能にしたり、登録情報を簡素化したりする等、登録に係るハードルを下げてほしいかと思っております。					

目標 I あらゆる分野へ男女共同参画を進める
施策の方向 2 政策・方針決定過程における男女共同参画の促進
施策 (2) 男女共同参画の視点を入れた防災対策の推進

東日本大震災の教訓を基に改正された災害対策基本法の趣旨等を踏まえ、避難者対策の方針決定過程に女性の参画を促進し、避難所設営・管理運営に男女共同参画の視点を取り入れま

す。

事業	計画	担当課
① 男女の視点を踏まえた避難所設営・管理運営の指針の改定	新規	防災課

<p>【 年度当初の目標 】 男女平等参画の視点を入れた防災対策を推進するため、自主防災組織等を通じ、避難所設営・運営訓練を実施する等、普及啓発活動を行う。</p>		
令和4年度事業実績(数値など具体的な実績)	事業実施の評価	事業実施の評価に対する担当課コメント
<p>女性や要配慮者の視点に立った避難所運営訓練11回実施。男女の視点を踏まえた避難所運営に関する防災講話46回実施。自主防災組織を対象とした女性視点の防災対策の啓発のため、防災研修会を実施し、参加者106人。</p> <p>また、避難所運営関係者会議や防災訓練、自主防災組織等に対し、地域や職場で防災活動の核となる女性の人材育成の促進を促した。</p>	A	<p>令和4年度は、防災訓練等で女性や要配慮者の視点に立った避難所設営・運営訓練を実施し、防災講話においても防災活動の核となる女性の必要性を理解してもらい、人材育成を推進していくことができた。</p> <p>令和5年度は、避難所設営のマニュアルを改訂するため、更に女性や要配慮者の視点を取り入れたマニュアルを定め普及啓発に努めます。</p>
<p>【協議会からのコメント】</p> <p>○共助に任せるのではなく、具体的に市の立場（公的立場）で性的マイノリティについての配慮をしてください。</p> <p>→【担当課からのコメント】</p> <p>○公助である市職員については、毎年実施している避難所設営・運営訓練やHUG訓練等の機会を捉え、女性ならではの視点を持つ避難所担当者の育成やトイレ、更衣室など必要となる配慮について訓練を実施しております。</p>		